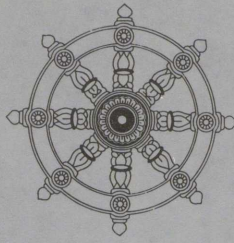


(加盟団体関係者の購読料については、負担金に含まれている。)



全 仏

仏暦2538年3月
(1995年)

NO. 406



復興へ向けて——避難所で炊き出し
(写真提供：曹洞宗国際ボランティア会)

財団 法人 全日本仏教会

JAPAN BUDDHIST FEDERATION



赤坂プリンス・ホテルで開催された理事会・評議員会

本会の理事会・評議員会が、去る1月31日午後4時から、東京の赤坂プリンス・ホテルで開催された。最初に全員で三帰依文を唱和、伊藤理事長挨拶に続いて会議に入った。会議では、平成7年度の事業計画案・収支予算案等の審議に先立ち、白幡事務総長から、1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」について、仏教界関係の被災状況や事務局の対応について報告が行われた。

理事会・評議員会開催

評議員会

議長に小野塚幾澄師、議事録署名人に齊藤价洲・轟光順の両師を選んで議事に入った。

議案第一号「理事の変更について」

小野塚議長より上程、菅野総務部長が説明、原案通り承認された。

議案第二号「平成七年度事業計画案について意見を求める件」

小野塚議長より上程、菅野総務部長が説明、原案賛成の意見が表明された。

議案第三号「平成七年度収支予算案について意見を求める件」

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 浜田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (3841) 4965

小野塚議長より上程、鷲尾財務部長が説明、原案賛成の意見が表明された。

議案第四号「阪神大震災への対応について」

小野塚議長より上程、出席者から具体的対応に関して、種々の意見が出された。

理事会

議長に伊藤理事長、議事録署名人に能邨英士・長谷川霊信の両師を選んで議事に入った。

議案第一号「常務理事の変更について」

伊藤議長より上程、菅野総務部長が説明、原案通り承認された。

議案第二号「平成七年度事業計画案について承認を求める件」

伊藤議長より上程、菅野総務部長が説明、原案通り承認された。

議案第三号「平成七年度収支予算案について承認を求める件」

伊藤議長より上程、鷲尾財務部長が説明、原案通り承認された。

議案第四号「阪神大震災への対応について」

伊藤議長より上程、出席者から具体的対応に関して、種々の意見が出された。

議案審議終了後、理事会・評議員会共通の報告が行われた。

報告事項

①ルンビニー委員会報告

川井ルンビニー委員会委員長より、マヤ堂考古学調査等の現況について、詳細な報告が行われた。

②第三十六回全日本仏教徒会議埼玉大会開催について

野生司社会部長、埼玉県佛教会の森山事務局長から、本年十月開催予定の第三十六回大会に関して、報告が行われた。

③差別法・戒名の改正について

伊東同和推進部長より報告された。

④事務総局各部報告

各担当部長より、報告された。

なお、恒例の新年懇親会は、状況に鑑みて、本年は中止された。

差別戒・法名協議会

差別戒・法名の改正に関する協議会が、去る二月八日午後一時から、京都グランド・ホテルで開催された。

田中郁朗同和委員会委員長を座長に選出、この問題に関する各宗派の取り組みが報告され、特に複数の宗派が関係する地域での対応が協議された。

【出席宗派】曹洞宗、浄土真宗本願寺派、

真宗大谷派、日蓮宗、高野山真言宗、臨済宗

妙心寺派、天台宗、真言宗智山派、真言宗豊

山派、念法真教、西山浄土宗

花まつりポスター

花まつり



|| 広く統一してご利用下さい ||

花まつりの行事は年々盛大に行なわれていますが、さらに全国的に浸透せしめるため、全日本仏教会では写真のような統一したポスターを作成、広くご利用頂けるよう頒布しております。

明るい春の野に静かに立って、天と地をさすお釈迦さまの姿は、見る人の心に安らぎを与えることと思います。

下記の要領にて頒布いたしますので各県仏、都市仏、各寺院、幼稚園、保育園などで広くご利用下さい。

◎サイズ 七五センチ×五二センチ

◎定価 一枚 百円

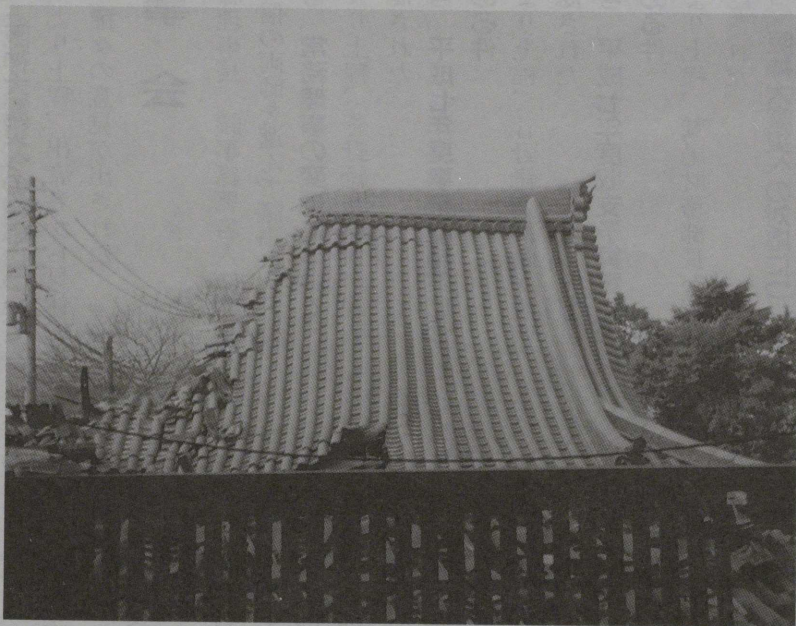
◎送料実費

◎申込先 東京都港区芝公園四一七ー四 全日本仏教会

※送付に時間のかかることもありまますので、お早めにお申込み下さい。毎年ギリギリの申込みで四月八日に間に合わないことがありますので……。

復興にむけて

阪神・淡路大震災



本堂が全壊した神戸市東灘区の覚浄寺

(写真提供・浄土真宗本願寺派)

仏教界あげての 救援活動

この度の阪神・淡路大震災では五三〇〇余人(二月一〇日現在)の死者を出し、避難所生活者は一時三〇万人を越える未曾有の大災害となったが、寺院関係の被害も甚大で、仏教界の受けたダメージは計り知れない。

全日本仏教会では地震発生後直ちに対応策を検討、義援金受け入れのための郵便振替口座(〇〇三〇一六一三七六〇)を開設し、御見舞いと状況把握のため、二度にわたり事務総長はじめ職員を現地に派遣するなどした。また加盟の各教団・都道府県仏教会・各種団体もそれぞれ被災状況の把握、救援活動などに機敏に動き出した。このほか仏教系のNGO諸団体も、いち早く現地に入ってボランティアとして獅子奮迅の活躍をしている。

しかし、被災した寺院教会のほとんどが、檀家信徒門徒の多くも同時に被災しており、その復興には仏教界全体の支援・協力が必要であろう。

また物的救援のみならず、精神面での心のケアを求められているのも事実である。仮設住宅や交通網の設備等の物的復興は行政に委ねるものとして、無念にも亡くなられた方々の追悼と、被災者の復興への精神的支えの一翼を担うことは宗教者の役目である。いまこそ伝統仏教の力が求められている時である。釈尊の、あるいは祖師方の仏法を現代に継承

する者として、私たち一人ひとりが試されていると言っても過言ではないだろう。

震災犠牲者追悼打鐘

本会は理事会・評議員会の提案を受け、三月六日に七七日忌を迎える五三〇〇〇余人の犠牲者のために、同忌日正午に全国寺院が洪鐘を撞き、あるいはそれぞれの法式、流儀に従った方法で弔意を表し、同時に全国すべての人々に黙禱を捧げていただくことを提唱した。

もとより物的復興と精神的安心とは表裏一体のものでなければならぬ。この追悼打鐘が、復興をめざす人々の「このころのよりどころ」となることを期待したい。

加盟団体の救援活動

本誌では加盟各団体の協力を得て、二月十日までに本会事務総局に寄せられた寺院関係の被災状況と各教団、都道府県仏教会などの救援活動をまとめた。今後の復興活動の参考となれば幸いである。

①義援金・救援金・見舞金等の募金・拠出
②救援要員・ボランティア派遣
③会館等宿泊施設の被災者への提供
④その他

天台宗

①NHK厚生文化事業団に天台宗一〇〇〇万

円、延暦寺一〇〇〇万円。宗内被災寺院に見舞金。救援物資(シート・電池等)を寄付。

②仏青が現地にて活動。④慰霊祭二回執行。

天台寺門宗

①円城寺長吏猊下以下全山住職による救援托鉢を実施。宗内寺院に勧募。

聖観音宗

①台東区を通じ五〇〇万円。浅草寺境内に募金箱設置(台東区へ第一回四〇〇万円。継続中)。浅草寺のボイスカウト隊員が募金活動(毎日新聞へ五五万余円)。④仏教諸団体の募金活動に境内を提供。

和宗

①募金開始。一部拠出済み。③福祉事業団・老人ホーム・病院に受入体制。④慰霊祭執行予定。

高野山真言宗

①日赤へ二〇〇〇万円。宗内寺院に勧募。金剛峰寺の托鉢浄財、二〇六万円を被災地へ送金。宗内被災寺院に救護活動金。②被災地内の寺院に救援本部設置。斎場・遺体安置所にて読経。救援物資を搬送、配布。被災地各所にて炊き出し。④高野山にて慰霊法要厳修。

真言宗智山派

①派内寺院に勧募、京都新聞社会福祉事業団に一〇〇〇万円。日赤へ山内役職員義援金一二十万円。救援物資(衣類、毛布、食料等)を

郵送。②宗務総長以下職員数名が被災地を慰問、遺体安置所にて供養法要。職員六名が現地にてボランティア活動。学院生が献血。③智積院会館に被災者を受け入れ。

真言宗豊山派

①豊山派福祉基金・豊山仏青救援基金より日赤へ三五〇万円、全真言宗青年連盟基金へ五〇万円。派内寺院に勧募。②仏青よりボランティア三名派遣。③高知県内の寺院宿坊に被災者一五〇名を受け入れ。総本山長谷寺に被災者を受け入れ。④三月六日、派内全寺院にて慰霊法要執行。

新義真言宗

①宗内寺院に勧募、日赤へ。②全真言宗青年会のボランティア活動を支援。

真言宗善通寺派

①派内寺院に勧募、全仏へ。真言宗各派総本山会に二〇万円。善通寺市役所へ総本山五〇万円、職員一同二二万円余。円善通寺境内に募金箱設置。

真言宗泉涌寺派

①日赤へ二〇〇万円。青年会で勧募。泉涌寺に募金箱設置。派内被災寺院に見舞金。②兵庫県内の避難所に救援物資搬送。

真言宗醍醐派

①京都新聞社会福祉事業団に一〇〇万円。派内被災寺院に見舞金。②現地調査に続き、二



被災地へ向かう西本願寺の救援隊
(写真提供・浄土真宗本願寺派)

○名の救援体制。
真言三宝宗

①宝塚市役所に一〇〇〇万円。清澄寺境内に募金箱設置。③被災職員を本山内に収容。④宗内被災寺院に指定業者を派遣し建物倒壊防止対策。

浄土宗

①兵庫県対策本部へ一〇〇〇万円。宗内被災寺院に見舞金。②救援物資(タオル・カップラーメン・飲料水等)搬送。各教区・青年会よりボランティア活動参加。二月一八日、中村康隆門主が被災地をお見舞い。

浄土宗西山禅林寺派

②兵庫青年会が神戸商業高校を拠点に豚汁の炊き出し。遺体安置所を回って一日一〇〇体以上を回向。

浄土真宗本願寺派

①派内寺院に勧募(二月九日現在一億八〇〇万円)。②震災翌日より、総長以下職員多数が救援物資(おにぎり、飲料水等)を搬送、五〇班の救援隊を編成し、救援復興活動に従事。

真宗大谷派

①被災の二教区に見舞金。派内寺院に勧募。本山等に募金箱設置。②参務以下職員数名が救援物資(タオル・飲料水・カップ麺・洗剤等)を被災教区に搬送。

真宗興正派

②新門が被災地をお見舞い。ボランティアを派遣し、うどんの接待。

真宗木辺派

①派内寺院に勧募、派内被災寺院へのお見舞金とする。

臨済宗妙心寺派

①京都市へ一〇〇万円。派内寺院に勧募。宗務職員が募金托鉢、日赤へ。宗務本所、花園会館等に募金箱設置。派内被災寺院へ見舞金。②総務部長以下内局・職員が現地調査。

臨済宗南禅寺派

①京都新聞社会福祉事業団へ一〇〇万円。派内被災寺院に見舞金。派内寺院に勧募(被災寺院へ)。南禅会会員に勧募(会員物故者・被災者へ)。宗務本所・塔頭寺院等が托鉢。南禅寺に募金箱設置。

臨済宗円覚寺派

①建長寺と合同の托鉢。

臨済宗建長寺派

①日赤へ五〇万円。円覚寺と合同で両派管長親下を先頭に托鉢、鎌倉市へ一四三万円。派内寺院に勧募。

臨済宗相国寺派

①派内被災寺院に復興援助金・見舞金。金閣寺・銀閣寺は京都仏教会へ拠出。

曹洞宗

①宗内寺院に勧募(二月九日現在一億五〇〇万円)。NHKへ一〇〇万円。宗務庁役職員による街頭募金托鉢実施、NHKへ九〇万有余円。②全国各地の曹洞宗青年会が複数の避難所にて炊き出し等のボランティア活動。④被害甚大な寺院にプレハブ設置。近畿各県の同宗寺院にて被災者の遺骨預かり。

黄檗宗

①宗内寺院に勧募。黄檗青年僧会が募金活動。一般に義援金呼び掛け。②宗内被災寺院お見舞い。

日蓮宗

①宗内寺院に勧募。街頭募金実施。②救援物資（おにぎり等）を搬送して、現地でボランティア活動。遺体の搬送や回向等。

法華宗陣門流

①共同募金会へ一〇万円。宗内被災寺院救援のため宗内寺院に勧募。宗内被災寺院に見舞金。②宗務総長以下内局三名が被災寺院を訪問調査。

華嚴宗

①NHKに三〇〇万円。朝日新聞社に一〇〇万円。東大寺大仏殿に募金箱設置、朝日新聞社へ第一回分一二万余円。

律宗

①総本山内僧侶・職員が拠出、奈良新聞社へ三九万余円。唐招提寺境内に募金箱設置。

青森県仏教会

①県下全寺院に勧募（各寺院より全仏の義援金口座へ振込）。

群馬県仏教連合会

①県下単位仏教会・所属団体が募金活動。高崎市仏教会は一五〇万円、桐生市仏教会は一〇〇万円など。

神奈川県仏教会

①全仏に一〇〇万円。

山梨県仏教会

①加盟各寺院が独自に活動。

静岡県仏教会

①県下単位仏教会が募金活動。

愛知県仏教会

①日赤へ三〇万円。県下単位仏教会が募金活動。

京都仏教会

①日赤へ第一回募金五〇〇万円。各本山・会員寺院・府下単位仏教会に募金。拝観寺院十カ寺に募金箱設置。③京都府宗教連盟と協力して受入体制整備。

大阪府仏教会

①読売新聞社に一〇〇万円。

兵庫県仏教会

①県下単位仏教会に勧募。救援・復興に尽力。

和歌山県仏教会

①会員寺院に勧募。青年僧の会と合同で街頭募金実施、八〇万円。②青年僧六名が救援物資を搬送配布。別班にて飲料水、ティッシュペーパー等を搬送、ボランティア活動実施。

鳥根県仏教会

①全仏へ一〇万円。県下単位仏教会が募金活動。

岡山県仏教会

①山陽新聞社社会事業団に一〇万円。県下各宗派単位で活動。岡山天台仏青は野菜・日用品を搬送、交替でボランティア活動を実施。

鳥取県仏教連合会

①日本海新聞社に五万円。

香川県仏教会

①全仏に一〇万円。県下単位仏教会が募金活動。

福岡県仏教連合会

①全仏に一〇〇万円。

全日本仏教婦人連盟

①朝日厚生文化事業団に三〇万円。近畿仏教婦人連盟に一〇万円。会員に勧募。

日本仏教保育協会

①加盟の幼稚園・保育園等に勧募。

東京ブティストクラブ

①全仏に三〇万円。

以上は本誌編集段階での中間集計である。

このほか、未集計の加盟団体はもとより、各宗派の地方機関・青年組織・婦人会、都道府県仏教会加盟の各単位仏教会等が、それぞれ対策を講じ活動している。

関連団体の救援活動

奈良仏教の東大寺・法隆寺・興福寺・唐招提寺・西大寺・薬師寺で構成される隣山会は、日赤に一〇〇万円を寄託した。

真言宗各派総大本山会は、被災した同宗の大本山である中山寺、清澄寺、須磨寺に見舞金を贈った。

曹洞宗国際ボランティア会は、被災地内の寺院に対策本部を設置して、市内三〇カ所の

≡≡≡ 事務局記録 ≡≡≡

避難所での炊き出し・配給、介護老人への入浴サービス（入浴車三台）、被災したベトナム難民の救援などをおこなっている。各県の

曹洞宗青年会員や雲水も多数参加している。アーユス仏教国際協力ネットワークは、被災地内の寺院を拠点に活動。各地から集まっ

十六日 宗教法人審議会出席

局内会議

二十一日 ルンビニー委員会

二十三日 法律相談室

二十七日 豊原大潤元理事長宗門葬参列

哀 悼

森寛紹（元全仏副会長）

十二月二十六日、九十六歳で遷化

元高野山真言宗管長

梶谷宗忍

一月十六日、八十歳で遷化

臨済宗相国寺派管長

豊原大潤（元全仏理事長）

一月十七日、八十六歳で遷化

元浄土真宗本願寺派総長

小松原賢誉（元全仏副会長）

一月三十日、八十三歳で遷化

元真言宗豊山派管長

有馬清雄（元全仏常務理事）

二月五日、八十一歳で遷化

元浄土真宗本願寺派宗会議長

た各宗派の僧侶が、斎場で茶毘に付される犠牲者に読経・回向をした。神戸市の鴨越斎場では早朝から深夜まで一日一〇〇遺体以上を回向した。

大阪仏教救援センター（府仏・市仏・府仏青・市仏青・市仏社会福祉委員会・大阪青少年教化協議会・大阪仏教テレホン相談室で構成）は、アーユスと協力して、避難所で生活する人々の介護や話相手、子供の遊び相手をする「お話しボランティア」を展開している。

世界の仏教徒からもお見舞い電報

地震発生後、各国の仏教関係者から、続々とお見舞いの電報やFAXが寄せられたので、ご紹介する。（本会着信順）

大韓仏教曹溪宗

宗正 ソンウルージュ 猓下

世界仏教徒連盟（WFB）

会長 サンヤダルマサクティ閣下

ルンビニー開発トラスト（LDT）

副理事長 スーリヤ B サキヤ教授

韓国仏教宗団協議会・韓日仏教文化交流協議会・大韓仏教観音宗 李泓波 猓下

◆ ◆ ◆

本誌では、阪神・淡路大震災関連の仏教界の動向について次号以降においても、お伝えしていく予定です。

- 二十六日 局内会議 法律相談室
- 三十一日 局内会議 神奈川県仏教会新年会出席 評議員会・理事会
- 二月一
- 三日 同和委員会
- 五〜十四日 ルンビニー園現地調査
- 七日 岐阜県仏教会出版祝賀会出席
- 八日 差別法戒名協議会
- 九日 法律相談室
- 十三日 前天台座主一周忌法要参列
- 十五日 日宗連理事会出席